

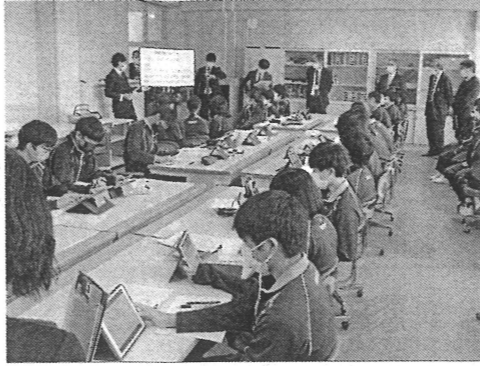
# 上川局 学力向上に向け授業改善・地学協働の事業推進

【旭川発】 Society 5.0時代を迎え、社会の構造が劇的に変化し、必要とされる知識も急激に変化し続けることが予想される中、子どもたちの基礎学力の確実な定着を図っていくことが一層求められている。上川教育局では学力向上の取組として授業改善推進チーム活用事業と教育局政策プレゼンテーション事業を推進。授業改善推進チーム活用事業では1人1台端末、大型モニター等の機器やジャムボードなどのアプリケーションを活用した中学校の授業を高校のICT担当者へ公開することで、高校での効果的な活用方法を学んだ。その上で中学校卒業までに身に付けてほしい能力などについて中高連携して交流していく。政策プレゼンテーション事業では旭川青年会議所のメンバーによる高校の総合的な学習・探究の時間の見学によって地域の課題と生徒の研究をマッチングできるように検討を進める。魅力ある地域づくりに向けた課題解決の学習を通して、地域の未来を担う子どもの資質・能力を育成することを目指す。

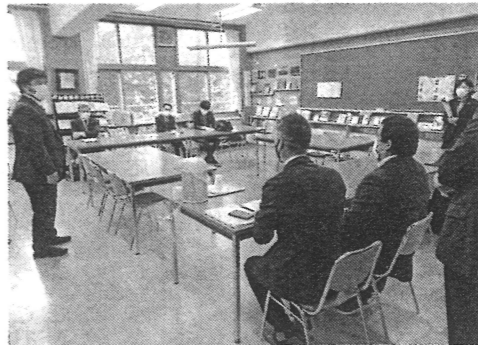
## 機器・アプリを豊富に活用

### 旭川緑が丘中

道教委の授業改善推進チーム活用事業の端末活用推進チーム配置校の旭川市立緑が丘中学校(貞弘真悟校長)で昨年10月下旬、高校のICT担当者へ端末を活用した授業を公開。1人1台端末やスクリーン、大型モニターなどの機器やグループワークスルーム、ジャムボードなどのアプリケーションを活用した授業公開。中学校においては、地域全体の授業改善、中学校においては、地域全体の授業改善に



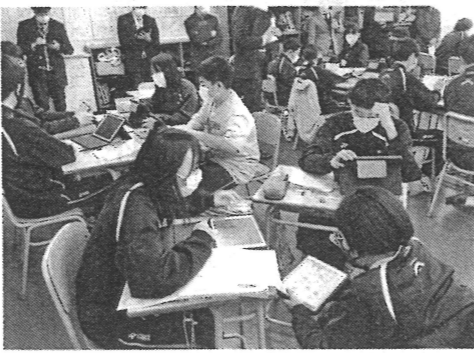
ICT活用の授業を見学



中・高教諭らが意見交換

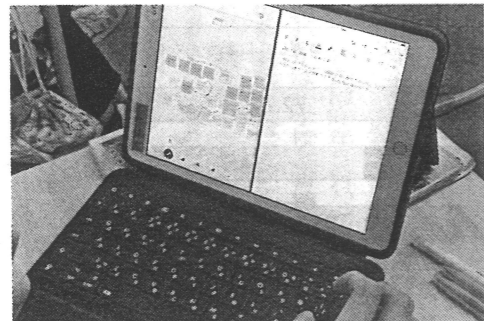
当日は3年4組の数学(廣野裕介教諭、生徒数40人)を公開。廣野教諭はノートに書き添えている宿題を端末のカメラで撮影させ、グループワークスルームに提出させた。その上で、宿題の中で分からない問題や、解決したい問題を一つ選んでジャムボードに添付させ、分からない問題がない生徒がまず書き、困り感を抱える生徒に教えた。続いて課題「いろいろな関数についてまとめてみよう」を設定。参考として他クラスの生徒のノートをスクリーンで示し「このノートや、サファリ・クロームで調べたことなどを参考にしてください」と呼びかけた。問題・課題は大型モニターに映し出した。授業後の交流で廣野教諭は「今までやってきた実践を共有するためのICT機器を多用した」と説明。参加者は「授業準備にどれくらい時間がかかるか」「ジャムボードの資料はいつでも見返すことができるのか」と質問したほか「生徒が指示に対してすぐに動いており、日々の実践の成果だと思った」「端末利用における規律作りからやっていたい」と意見述べた。

## ジャムボードを効果的に利用



グループ交流で多面的・多角的に考えさせた

昨年11月上旬、旭川市立春光台中学校(大城亮二校長)で授業改善推進チーム活用事業に係る公開授業を行った。ジャムボードで生徒一人ひとりの意見を効果的に整理することで、自分と他人の意見は完全に一致しないことを理解させ、多面的・多角的に考えさせる授業を展開した。2年1組の社会(庭瀬奈穂美教諭、生徒数33人)を公開。庭瀬教諭は前時の振



色分けで意見を可視化

り返りから「開国したこと、日本にとって良かったのだろうか」と問いを投げかけた上で「開国が与えた影響について考えよう」と課題を提示した。ジャムボードを活用し、開国によって起こったフランスの変化を青、マイナスを黄色で色分けするよう求め、一つ一つの变化がプラスかマイナスかを判断させた。続いて3、4人のグループに分かれ、それぞれの意見を交換させた。プラス・マイナスの判断が他人と完全には一致しないことに気が付かせた。その上で「同じ変化について、プラスと判断する人とマイナスと判断する人がいるのはなぜだろうか」と発問。判断が一致しない理由を、他単元や他分野の学習をもとに考えさせた。最後にジャムボードの交流をもとに、開国が政治や人々の生活に与えた影響をまとめさせた。授業後の交流で参加者は「教材準備時間や市内の端末普及・利用状況などに関し、庭瀬教諭はジャムボードの活用について「たくさん文章を書くのが苦手な子どもが多いことから、少しの文章で書き出すことができ、入力・手書きの両方ができる点で利用しやすい。色分け、エリア分けも簡単なので、思考が深められる」と利点を。一方で「他人の意見等をそれぞれから削除できず、構造上、ルールを徹底する必要があるので」と話した。

### 北海道学校図書館協会

子どもたちにもっと本を

会長	佐藤正行	副会長	佐藤聖士
副会長	青木佳寿紀	理事	鈴木宏和
理事	大矢俊明	理事	池田知
理事	堀野智宏	理事	松川操
理事	山本幸紀	理事	山崎昌美
理事	横道幸紀	理事	津部浩士
理事	佐々木道彦	理事	津部浩士
理事	清水恒雄	理事	津部浩士
理事	高橋卓	理事	津部浩士

事務局 札幌市立西陵中学校内  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134

### 北海道性教育研究会

会長	長富
副会長	半平
理事	小川
理事	廣田
理事	美田
理事	山崎
事務局	山崎

事務局 札幌市中央区南二条西五丁目  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134

### 北海道エネルギー環境教育研究委員会

委員長	熊谷誠
幹事	香西
幹事	増谷
幹事	山下
幹事	堀裕
幹事	野田
幹事	真倫

事務局 札幌市立新川中央小学校  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134

### 北海道特別支援学級教育研究連盟

理事長	荻井上
理事	猪股
理事	坪野
理事	伊藤
理事	木村
理事	宿野
理事	田村
理事	野田
理事	真倫

事務局 札幌市立東区小学校  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134

### 北海道十勝新聞教育研究会

会長	早川一之
副会長	長尾全
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一
副会長	阿部英一

事務局 札幌市立東区小学校  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134

### 上川へき地・複式教育研究連盟

委員長	温泉
副委員長	太田
副委員長	荒谷
副委員長	長岡
副委員長	長岡
副委員長	長岡
副委員長	長岡
副委員長	長岡
副委員長	長岡
副委員長	長岡

事務局 札幌市立東区小学校  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134

### 渡島中学校体育連盟

会長	信田博
副会長	星子友
副会長	加賀正
副会長	石岡一
副会長	伊與田
副会長	伊與田
副会長	伊與田
副会長	伊與田
副会長	伊與田
副会長	伊與田

事務局 札幌市立東区小学校  
電話 011-521-1133  
FAX 011-521-1134